



渋川市

# しぶかわ未来共創プラン

## (第3期渋川市総合戦略)

概要版

しぶかわの未来を  
市民と共に考え 共に創る



令和7（2025）年3月 群馬県渋川市

# 目次

<b>「総合戦略」とは</b> .....	1
総合戦略はなぜつくるのでしょうか? .....	1
「しぶかわ未来共創プラン」とはどんな計画でしょうか? .....	1
<b>第1章 渋川市人口ビジョン</b> .....	2
渋川市人口ビジョンの「目指す将来像」 .....	2
<b>第2章 総合戦略</b> .....	3
総合戦略が描く理想の姿 ―地域ビジョン― .....	3
総合戦略の体系と施策及び指標 .....	4
<b>基本目標1 「渋川で暮らす」</b>	
―切れ目のない総合的な支援― .....	6
<b>基本目標2 「渋川とつながる」</b>	
―交流人口の拡大、移住・定住の促進、関係人口の創出・拡大― .....	7
<b>基本目標3 「渋川で働く」</b>	
―本市の特性をいかした産業振興による雇用創出と人材育成― .....	8
<b>基本目標4 「持続可能な渋川のまちづくり」</b>	
―時代に合った活力ある安全・安心な地域づくり― .....	9



空から見た渋川市

(渋川駅南東から小野子山・子持山方面を望む)

# 「総合戦略」とは…

「総合戦略」は、人口の減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への人口の過度の集中を是正し、それぞれの地域で住みよい環境を確保して、将来にわたって活力ある日本社会を維持することを目指す「地方創生」を実現するために、具体的な目標や施策の基本的方向等をまとめた計画です。



## 総合戦略はなぜつくるのでしょうか？

2014（平成26）年11月に制定された「まち・ひと・しごと創生法」第10条において、市町村は国及び都道府県の総合戦略を勘案して、当該市町村の実情に応じた計画（総合戦略）を定めるよう努めなければならないとしています。

また、人口減少対策や地域の活性化など、様々な地域課題に対応し、計画的に地方創生の取り組みを推進するため、時代の変化などを的確に見極めながら、計画を見直していく必要があります。

## 「しぶかわ未来共創プラン」とはどんな計画でしょうか？

「しぶかわ未来共創プラン」は、2015（平成27）年12月に策定した「渋川市まち・ひと・しごと創生総合戦略（第1期渋川市総合戦略）」、2020（令和2）年3月に策定した「第2期渋川市まち・ひと・しごと創生総合戦略（第2期渋川市総合戦略）」に次ぐ、第3期渋川市総合戦略として策定を行う計画です。

### （1）策定の考え方

「しぶかわ未来共創プラン」は、次の4つの考え方に基づいた計画となっています。

- ① デジタルの活用により誰もが便利で幸せに暮らせる地域社会の実現を目指す
- ② 市民や関係機関などの様々な意見を施策等に反映する
- ③ これまでの地方創生の取り組みを継承しつつ、これからのまちのあるべき姿を見据えた計画とする
- ④ 国の地方創生の考え方を勘案するとともに、第2次渋川市総合計画との整合・補完を図る

### （2）計画の構成

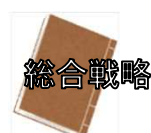
総合戦略の策定に当たっては、「地域の目指す将来像」を描くため、人口の将来展望を示す「人口ビジョン」を踏まえる必要があります。本市では、2015（平成27）年12月に第1期渋川市総合戦略と併せて「渋川市人口ビジョン」を策定しましたが、人口ビジョンの推計値と現状との間にかい離が見られることから、新たな推計に基づいた「渋川市人口ビジョン」を策定し、具体的な取り組みを位置づける「総合戦略」と併せた、2部構成の計画として策定します。

○第1章 渋川市人口ビジョン

【第1期・第2期】

【第3期】

○第2章 総合戦略



### （3）計画期間

2025（令和7）年度から2029（令和11）年度までの5年間とします。

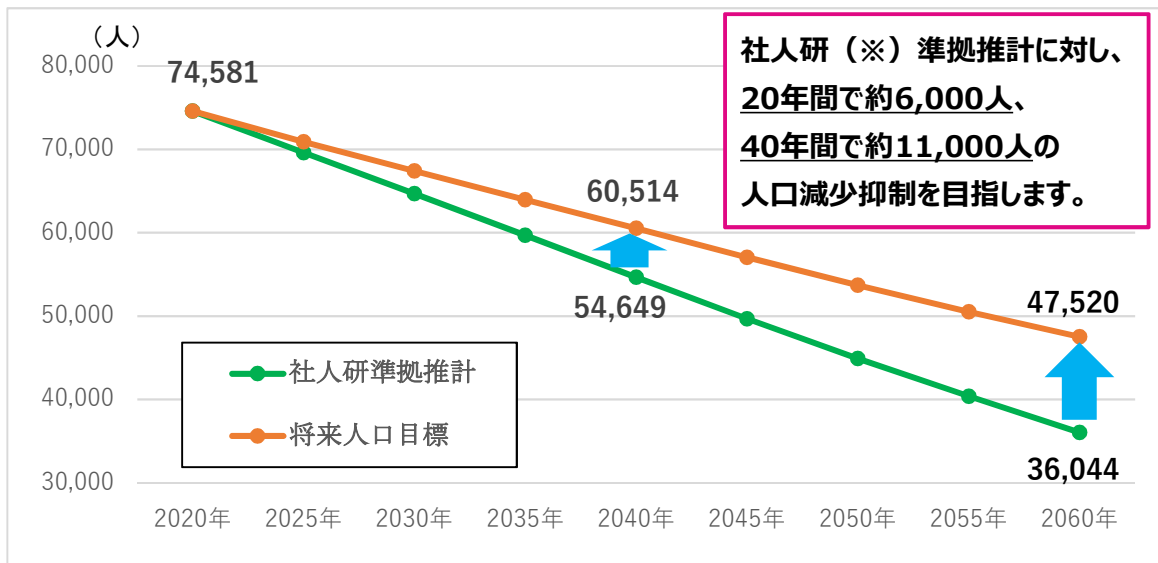
# 第1章 渋川市人口ビジョン

本市の人口は、1995年（平成7年）の91,162人（合併前6市町村の合計）をピークに減少に転じ、2020年（令和2年）には74,581人と、25年間で約18%減少しています。

本市では、これまでの地方創生の取り組みをさらに進め、子育てがしやすい環境づくりの推進により**合計特殊出生率の上昇（希望出生率1.8以上）【⇒自然減の抑制】**を実現するとともに、本市の魅力を上向きさせ、移住・定住の促進などにより**転入・転出者数の均衡【⇒社会減の抑制】**を実現し、**2040年に6万人以上、2060年に4万7千人以上**の将来人口目標を目指すものとします。

**将来人口目標 2040年:6万人以上 2060年:4万7千人以上**

将来人口の推計



※社人研…国立社会保障・人口問題研究所

## 渋川市人口ビジョンの「目指す将来像」

上記の将来人口目標を達成するため、下記の4つのまちの実現を本市の「目指す将来像」として位置づけました。

**若者・女性に魅力ある  
まちの実現**



**人々の交流による活力  
あふれるまちの実現**



**誰もが生き生きと  
活躍できるまちの実現**



**誰もが幸せに  
暮らせるまちの実現**



## 第2章 総合戦略

「第2章 総合戦略」では、「第1章 渋川市人口ビジョン」において位置づけた「目指す将来像」の実現を図るための具体的な目標や施策をまとめました。

しづかわ未来共創プランでは、今後5年間の地方創生の取り組みを推進するための**22の「施策」**を、**4つの「基本目標」**、**8つの「戦略」**に体系化するとともに、各施策において「デジタルの活用が想定される取り組み」を位置づけ、より効率的で効果の高い事業の展開を目指します。

### 総合戦略が描く理想の姿 —地域ビジョン—

「渋川市人口ビジョン」における「目指す将来像」を包含するものとして、しづかわ未来共創プランが描く「地域ビジョン」を次のとおり位置づけました。

また、「目指す将来像」に対応する基本目標と、それぞれの取り組みの方向性を整理しました。

#### 【地域ビジョン】

新たな時代の変化を取り込みながら、  
まちの魅力を創出し、住む人すべての幸せを育むまち

#### 若者・女性に魅力あるまちの実現

若者や女性をはじめとする多くの人を惹きつけ、「住み続けたい」、「住んでいて良かった」、「このまちで子育てをしたい」と思ってもらえるまちを目指します。

#### 基本目標1 「渋川で暮らす」

#### 人々の交流による活力あふれるまちの実現

国内有数の観光地として地域のブランド力を高め、国内外から多くの人に訪れてもらえる、にぎわいあふれるまちを目指します。

#### 基本目標2 「渋川とつながる」

#### 誰もが生き生きと活躍できるまちの実現

世代や分野を超えた多様な人が活躍し、誰もが社会の一員として生き生きと輝ける「共生社会」実現のための取り組みを推進します。

#### 基本目標3 「渋川で働く」

#### 誰もが幸せに暮らせるまちの実現

あらゆる地域住民にとって安全・安心で快適な生活環境を提供するため、デジタル技術を活用した生活の質の向上や防災体制の強化、地域コミュニティの円滑化・活性化などを推進します。

#### 基本目標4 「持続可能な 渋川のまちづくり」

#### デジタル技術の活用（地域ビジョンの実現に向けた取り組みを加速化・深化）

デジタル技術は、地域ビジョンの実現に向けた取り組みを加速化・深化させるツールです。誰もがデジタル技術の恩恵を受けることができ、便利で快適に暮らせる社会の実現に取り組むとともに、住民満足度と幸福度のさらなる向上を目指します。

## 基本目標 1 「渋川で暮らす」

戦略① 結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえ、誰もが活躍できる地域づくり

- 戦略①-1 若者・女性が活躍できる環境づくり
- 戦略①-2 結婚・妊娠・出産・子育ての支援
- 戦略①-3 共生社会実現による誰もが活躍できる地域づくり
- 戦略①-4 健康づくりの推進と医療・福祉の充実
- 戦略①-5 男女共同参画の推進

戦略② 渋川に誇りを持ち、新しい時代を切り拓く力の育成

- 戦略②-1 教育環境の充実
- 戦略②-2 デジタル技術を活用した渋川の未来を創る人材の育成
- 戦略②-3 ふるさと渋川郷土への愛着向上

## 基本目標 2 「渋川とつながる」

戦略③ 観光・スポーツ・文化の振興による関係人口・交流人口の創出

- 戦略③-1 伊香保温泉を核とした観光戦略の推進
- 戦略③-2 スポーツや生涯学習・文化の振興による交流人口の拡大

戦略④ 移住・定住支援の推進

- 戦略④-1 東京圏からの移住・定住と市民の市内定着・回帰の促進及び関係人口の創出・拡大
- 戦略④-2 若い世代への支援

## 基本目標 3 「渋川で働く」

戦略⑤ 渋川の特徴をいかした産業の発展

- 戦略⑤-1 地域を担う中小企業など市内産業の支援と人材育成
- 戦略⑤-2 産業基盤の整備と企業誘致の推進
- 戦略⑤-3 誰もが働きやすい環境の整備

戦略⑥ 農林業の活性化

- 戦略⑥-1 魅力ある農業の振興と人材育成
- 戦略⑥-2 林業基盤の整備と人材育成による森林の保全
- 戦略⑥-3 地域ブランドの確立と関連産業の振興

## 基本目標 4 「持続可能な渋川のまちづくり」

戦略⑦ 安全・安心で暮らしやすいまちづくり

- 戦略⑦-1 集約型都市構造に向けた計画的な土地利用と公共交通網の整備
- 戦略⑦-2 安全で快適な暮らしを支える社会基盤整備

戦略⑧ デジタルを活用した行政改革と効率的な行財政運営の推進

- 戦略⑧-1 行政のDXの推進
- 戦略⑧-2 効率的な行財政運営の推進

デジタル技術の活用（地域ビジョンの実現に向けた取り組みを加速化・深化）

指標 1：合計特殊出生率

【令和5年度】1.10 ⇒【令和11年度】1.47

指標 2：「渋川市内に住み続けたい」、「一度、渋川市外で暮らすかもしれないが、将来は戻ってきたい」と回答する中高生の割合

【令和5年度】22.4% ⇒【令和11年度】30.0%

指標 1：観光入込客数

【令和5年度】353万人 ⇒【令和11年度】503万人

指標 2：転入率（転入者数／総人口×100）

【令和5年度】2.74% ⇒【令和11年度】3.20%

指標 1：市内事業所における新規就業者数

【令和5年度】3,587人 ⇒【令和11年度】3,720人

指標 2：農業産出額

【令和5年度（R4）】167億円  
⇒【令和11年度（R10）】180億円

指標 1：乗合バス利用者数

【令和5年度】163,272人  
⇒【令和11年度】169,000人

指標 2：行政手続のオンライン化率

【令和5年度】32.73% ⇒【令和11年度】60%

地域  
ビジョン

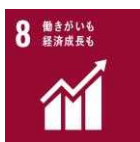
新たな時代の変化を取り込みながら、まちの魅力を創出し、  
住む人すべての幸せを育むまち

若者や女性をはじめとする多くの人を惹きつけ、「住み続けたい」、「住んでいて良かった」、「このまちで子育てをしたい」と思ってもらえるまちを目指します。

特に、子育てのしやすさや住みやすさ、教育の充実、安全・安心を実感できる環境整備や、様々な支援制度の拡充を通じて、選ばれる渋川市を実現します。



主に該当する  
SDGsの目標



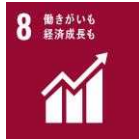
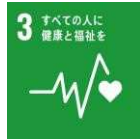
項目	基準値 (R5)	目標値 (R11)
合計特殊出生率	1.10	1.47
「渋川市内に住み続けたい」、「一度、渋川市外で暮らすかもしれないが、将来は戻ってきたい」と回答する中高生の割合	22.4%	30.0%
具体的な施策	具体的な取り組み	
戦略①- 1 若者・女性が活躍できる環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 就職相談・就労支援セミナー等の充実</li> <li>➢ 柔軟かつ多様な働き方の推進</li> <li>➢ 仕事と子育ての両立及びキャリア形成支援 など</li> </ul>	
戦略①- 2 結婚・妊娠・出産・子育ての支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 子育てがしやすい環境づくりの啓発・推進</li> <li>➢ 不妊治療費や不育症治療費の助成</li> <li>➢ 保育料及び学校給食費の無償化維持 など</li> </ul>	
戦略①- 3 共生社会実現による誰もが活躍できる地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 意識上のバリアを取り除くための啓発・理解促進</li> <li>➢ 認知症と共生する意識の醸成</li> <li>➢ 多文化共生社会の推進 など</li> </ul>	
戦略①- 4 健康づくりの推進と医療・福祉の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 健康診査等の受診勧奨や保健指導などの充実</li> <li>➢ 介護予防及び高齢者の健康づくりの推進</li> <li>➢ 地域の病院と診療所との医療連携の推進 など</li> </ul>	
戦略①- 5 男女共同参画の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 女性の健康支援に向けた施策の推進</li> <li>➢ 固定的性別役割分担意識やアンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み）の解消 など</li> </ul>	
戦略②- 1 教育環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 地域の声をいかした特色ある学校づくりの推進</li> <li>➢ 英語でのコミュニケーション機会の充実</li> <li>➢ 低学年児童等への学習支援の拡充 など</li> </ul>	
戦略②- 2 デジタル技術を活用した渋川の未来を創る人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ ICT機器を有効に活用した授業の充実</li> <li>➢ 児童生徒のデジタルスキルの向上 など</li> </ul>	
戦略②- 3 ふるさと渋川郷土への愛着向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 授業等での地域人材の活用促進</li> <li>➢ 郷土を学ぶ機会の充実</li> <li>➢ 市内高校生との連携事業推進 など</li> </ul>	



国内有数の観光地として地域のブランド力を高め、国内外から多くの人に訪れてもらえる、にぎわいあふれるまちを目指します。

また、豊かな自然や生活のしやすさ、人の温かさなどの地域資源をいかして、移住先として選ばれるまち、また戻ってきたいと思ってもらえる渋川市を実現します。

主に該当する  
SDGsの目標



項目	基準値 (R5)	目標値 (R11)
観光入込客数	353万人	503万人
転入率 (転入者数※1 / 総人口※2 × 100)	2.74%	3.20%
具体的な施策	具体的な取り組み	
戦略③-1 伊香保温泉を核とした観光戦略の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 誰もが安全で快適な旅行ができる観光地づくりの推進</li> <li>▶ インバウンド向けガイドや体験型旅行商品の造成及び国内外への効果的な情報発信の強化</li> <li>▶ 本市ならではのコンテンツを活用した広域観光の推進 など</li> </ul>	
戦略③-2 スポーツや生涯学習・文化の振興による交流人口の拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 大規模スポーツ大会や合宿等の誘致</li> <li>▶ 市民のスポーツ活動や文化活動の支援</li> <li>▶ 地域特性や地域資源をいかしたスポーツ・文化・生涯学習活動の振興 など</li> </ul>	
戦略④-1 東京圏からの移住・定住と市民の市内定着・回帰の促進及び関係人口の創出・拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 経済的負担の軽減等による移住・定住の促進</li> <li>▶ 空き家等の利活用による安全・安心な生活環境の確保</li> <li>▶ 交通の利便性をいかした二地域居住など関係人口の創出・拡大 など</li> </ul>	
戦略④-2 若い世代への支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 県外在住・在学新卒者等への県内就職促進</li> <li>▶ 移住支援金の交付による就業・起業家の転入促進</li> <li>▶ 新規学卒者への奨励金支給による市内への就職・定住促進 など</li> </ul>	

※1 転入者数は各年度（4月1日～翌年3月31日）の合計 ※2 総人口は各年度末現在



伊香保温泉石段街

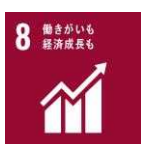


都内での移住相談会

世代や分野を超えた多様な人が活躍し、誰もが社会の一員として生き生きと輝ける「共生社会」実現のための取り組みを推進します。

特に、今後一層の増加が見込まれる外国人を地域社会の一員として受け入れ、就業や教育の支援に取り組むとともに、女性、障害者、高齢者などのリスクリング（新たな就業のために必要なスキル獲得）を含めた就業支援により、誰もが活躍できる環境整備を支援します。

また、産業や農業のDX化による生産性向上の支援、テレワークでの就業も含めたさまざまな企業の誘致や市内産業の支援などにより、地域経済の活性化を目指します。



項目	基準値 (R5)	目標値 (R11)
市内事業所における新規就労者数 (渋川公共職業安定所管内適用事業所における雇用保険資格取得者数)	3,587人	3,720人
農業産出額	167億円 (R4)	180億円 (R10)
具体的な施策	具体的な取り組み	
戦略⑤-1 地域を担う中小企業など市内産業の支援と人材育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内中小企業の新製品・新商品の開発支援</li> <li>商工団体と連携した効果的な創業支援及び事業継承者の育成支援 など</li> </ul>	
戦略⑤-2 産業基盤の整備と企業誘致の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業が立地しやすい基盤整備の促進</li> <li>市外に有する本社機能の移転またはサテライトオフィス等の開設支援 など</li> </ul>	
戦略⑤-3 誰もが働きやすい環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>リスクリングを含めた職業訓練の促進</li> <li>外国人労働者のための日本語習得・生活相談支援</li> <li>誰もが自分らしく活躍できる社会の機運醸成 など</li> </ul>	
戦略⑥-1 魅力ある農業の振興と人材育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な産業と連携した魅力ある農業の振興を推進</li> <li>農業経営の法人化及び研修、経営継承の支援</li> <li>農作物への有害鳥獣被害の予防促進 など</li> </ul>	
戦略⑥-2 林業基盤の整備と人材育成による森林の保全	<ul style="list-style-type: none"> <li>林業事業者の事業量の安定化を促進</li> <li>林業専用道や作業道の開設を支援</li> <li>林業就労者の福利厚生の実質促進 など</li> </ul>	
戦略⑥-3 地域ブランドの確立と関連産業の振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>渋川産農作物のブランド確立と強化を推進</li> <li>地場産業の振興と農産物の地産地消を推進</li> <li>農業体験やグリーンツーリズムの実質を推進 など</li> </ul>	

# 基本目標 4

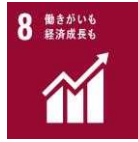
## 「持続可能な渋川のまちづくり」

—時代に合った活力ある  
安全・安心な地域づくり—

あらゆる地域住民にとって安全・安心で快適な生活環境を提供するため、デジタル技術を活用した生活の質の向上、防災体制の強化、地域コミュニティの円滑化・活性化などを推進します。

特に、地域の拠点を中心とした公共交通網の整備や、デジタル機器利活用のためのきめ細やかな支援などにより、どこに住んでいても困らないまちを実現します。

主に該当する  
SDGsの目標



項目	基準値 (R5)	目標値 (R11)
乗合バス利用者数	163,272人	169,000人
行政手続のオンライン化率	32.73%※	60%
具体的な施策	具体的な取り組み	
<b>戦略⑦- 1</b> <b>集約型都市構造に向けた計画的な土地利用と公共交通網の整備</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ JR渋川駅周辺での創業を支援</li> <li>➢ JR八木原駅周辺整備による駅の利便性向上及び定住人口の増加を促進</li> <li>➢ 地域公共交通の利便性向上の推進 など</li> </ul>	
<b>戦略⑦- 2</b> <b>安全で快適な暮らしを支える社会基盤整備</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 消防団の運営支援及び装備の拡充</li> <li>➢ 市道の安全確保や市民の生活環境を保全するためのインフラ整備</li> <li>➢ インターネット上の誹謗中傷等の被害者支援 など</li> </ul>	
<b>戦略⑧- 1</b> <b>行政のDXの推進</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 行政手続きのオンライン化による市民の利便性向上の促進</li> <li>➢ 各種業務のデジタル化による業務効率化の推進</li> <li>➢ デジタルに不慣れな人への支援の充実 など</li> </ul>	
<b>戦略⑧- 2</b> <b>効率的な行財政運営の推進</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 公共施設等の計画的な更新・統廃合等の推進</li> <li>➢ 自治体や企業等との連携推進及び先進技術の活用を促進 など</li> </ul>	

※ 令和5年度のオンライン化率は、行政手続の総数を令和6年度と同数とみなして算出しています



北橋地区予約型バス「北橋メグル」



スマートフォン体験教室

## 「しぶかわ未来共創プラン」が目指すもの

この計画は、渋川市における地方創生を推進するための新たな計画として、令和7年4月からスタートします。

「しぶかわ未来共創プラン」という名称には、これからの渋川市を「市民と共に考え、市民と共に創っていきたい」という思いを込めています。

人口減少を克服し、渋川市が将来にわたって活力ある地域であり続けるために、「共創」を目指して、取り組んでまいります。



しぶかわ未来共創プラン（第3期渋川市総合戦略）

【概要版】

（令和7（2025）年3月策定）

発行 渋川市

編集 総合戦略部政策戦略課

〒377-8501 群馬県渋川市石原80番地

TEL 0279 (22) 2111 (代表)

URL <https://www.city.shibukawa.lg.jp/>

【表紙の写真】 第7回しぶかわいかほフォトコンテスト《日常部門》最優秀賞  
（撮影場所：北橘歴史資料館）